

ワイヤセンサ式 土石流検知・落石検知システム



写真↑：設置例1（土石流検知）

←：設置例2（落石防護ネットへの取り付け）

概要

土石流は急激な出水により多量の土砂を含んで流れるため破壊力が強力で、大きな被害を受けることがあります。本システムは土石流の発生をワイヤの移動、破断で瞬時に検知して、アラーム、サイレン、回転灯等で危険警報を広報するシステムです。

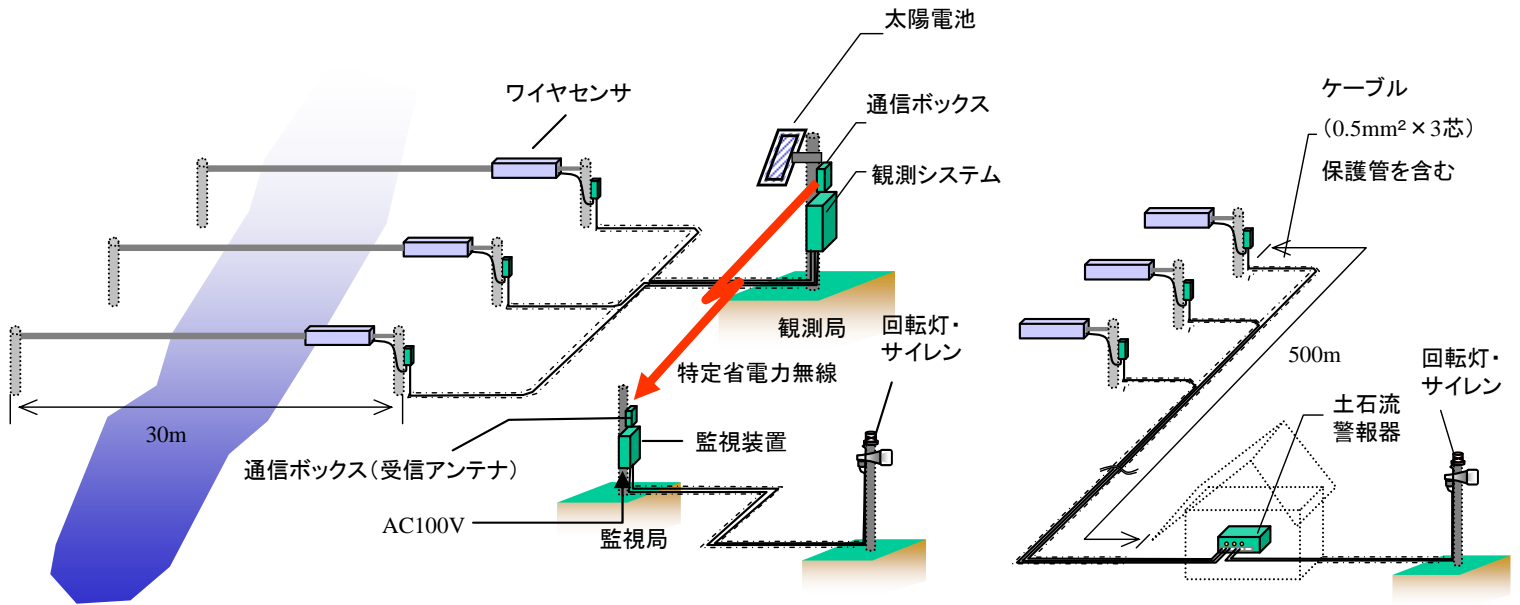
また、落石防護ネットなどと組み合わせることで、落石を検知し、危険警報を発することも出来ます。

特長

- 安価で設置工事が易しい。
- 一つのシステムで危険地域3カ所のワイヤセンサを管理できます。
- 危険地域のワイヤセンサと観測室の土石流警報器は3芯ケーブルで接続され、3kmまで延長できます。
- ケーブル断線等の事故は、土石流の検知とは別に判断できます。
- ワイヤセンサは5cmの張力自動調整機構をもっているため、動物、釣り竿などの接触では誤報を発生しません。
- ワイヤの保護管は不要です。

構成

無線通信システムの場合 ケーブル配線の場合



その他にも様々な通信方法が使用可能となっております。

設置条件

1. 設置条件および事前調査により設置場所、間隔の確認が必要です。
2. ケーブルの配線方法は、現場の条件により検討が必要です。
3. 無線通信の場合、設置前に通信確認を行い設置場所を検討する必要があります。

仕様

ワイヤセンサ EDZ-004型

- ワイヤ径：φ1.5mm
- ワイヤ長：最長30mまで設置可能
- ワイヤ引込力：最大60kgf、ターンバックルで固定
- 検出器：近接スイッチ方式
- 仕様温度範囲：-30～50℃ 防雨型
- 外形寸法：44W×75H×360D

土石流警報器 EW-015型

- 接続センサ：3ヶ所まで
- 警報表示：土石流発生箇所毎で赤ランプ表示
- 警報アラーム：警報表示時に電子ブザーで連続音
- 警報サイレン及び回転灯：警報表示時に動作（警報器の出力と接続）
- 警報停止：押ボタンで停止
- 警報点検：押ボタンで確認
- 伝送ケーブル：3芯ケーブル使用時にケーブルの断線表示 センサ毎で黄色ランプ表示
- 電源：DC12V
太陽電池(オプション)
AC100V(オプション)
- 仕様温度範囲：-10～50℃
- 外形寸法：190W×84H×200D

